Pick Up INFO

介護保険を取り巻く現状と課題／保健課介護保険係☎128

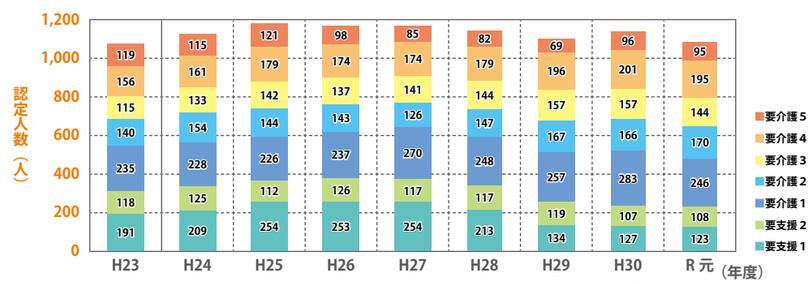
住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためのまちづくり

介護保険制度は、増え続ける高齢者の介護を社会全体で支える仕組みとして平成12年4月に創設されました。制度が始まって20年が経過し、高齢者の暮らしを支える大切な制度として定着しています。

これからも垂水市では、介護が必要になっても、住み慣れた地域や住まいで暮らし続けられるよう、「高齢者の自立支援」と、「持続可能な介護保険運営」をめざして介護保険サービスの充実に取り組んでまいります。

本ページでは、垂水市の介護保険を取り巻く現状と課題についてご紹介いたします。

◎要支援・要介護認定者数（要介護度別）



（出典）地域包括ケア「見える化」システム

要介護（支援）認定

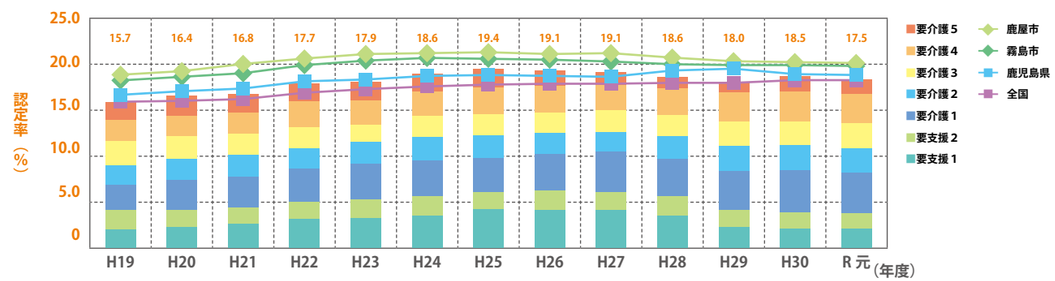
現状

平成26年度以降は認定の適正化により、ほぼ横ばい状態となり、平成29年度は、新しい総合事業が開始された影響で要支援者が減少に転じた。平成30年度は再び要介護軽度者が増加したが、令和元年度は全体的に減少する結果になった。また、人口に影響される認定率においては、令和元年度は全国・県・近隣市と比べ低くなっている。

課題

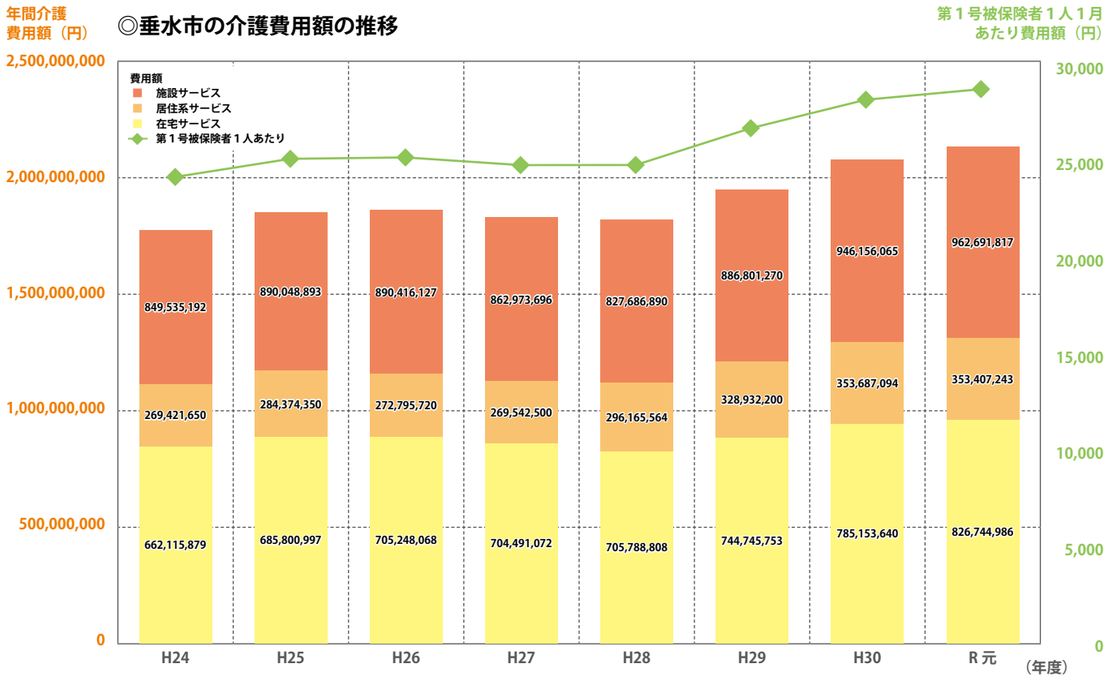
介護保険の基本理念である「自立支援」をもとに、適正なサービスを提供できるよう周知を行い、認定率にも効果が出てきているところであるが、引き続き、将来サービスを受けるための保険としての認定を受ける方が見受けられるため、今後もしっかりと周知していく必要がある。

◎認定率（要介護度別）／垂水市



（出典）地域包括ケア「見える化」システム

◎垂水市の介護費用額の推移



（出典）地域包括ケア「見える化」システム

介護費用

現状

平成28年度まで介護費用額は介護保険事業計画どおりに推移していたが、平成29年度以降、民間一般病院の閉院や介護人材の処遇改善のための介護報酬改定により実績額が増加傾向になり、令和元年度は老人保健施設費や通所介護事業などの利用が増えたことにより更に増加となった。

課題

本市では、依然として施設サービス費の割合が高いままであるが、近年、通所サービスなどの在宅サービス費も増加しており、国の施策である「施設」から「在宅」への流れに沿ったものになってきているものの、全体的に介護費用が増加傾向にあることから、真に必要なサービスを提供するため、今後も介護給付費適正化を図って持続可能な介護保険運営に取り組んでいく必要がある。

11月11日は「介護の日」

いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう

介護について理解と認識を深め、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進するため、介護に関する啓発を重点的に実施するための日として制定されました。

「介護の日」を記念して、この前後にさまざまなイベントや広報活動を行い、これからの介護のあるべき方向性を発信しています。

介護保険は、Webからも！